

1 3 学年

2 教材 絵画

3 題材名 板に描く自由テーマの油絵
ーアクティブラーニングを取り入れ、油絵の様々な技法を学びながら油絵作品に取り組む。ー
(学習指導要領 美術Ⅲ 2 内容 A 表現(1) 絵画・彫刻, B 鑑賞)

4 題材目標

- (1) 美術の歴史における基底材の変遷を学び、板に描く表現に関心を持つ。(関心・意欲・態度)
- (2) 油絵の様々な技法について、グループで研究したことを発表し、お互いの意見を取り入れながら表現方法について構想する。(発想や構想の能力)
- (3) 自分が表現したいテーマを掘り下げ、構図や色彩、マチエールの工夫等、表現の構想を練る。(発想や構想の能力)
- (4) 自分の個性を活かしながら、テーマに合った油絵の表現方法を工夫して制作に取り組む。(創造的な技能)
- (5) 自分の作品について、表現したかったことや工夫した点などを発表し合い、鑑賞し合うことで、作者の主張を考察し、感性を働かせて作品を味わうとともに、自らの作品を振り返り、自己評価につなげる。(鑑賞の能力)

5 題材指導計画

- (1) 導入 2 時間
 - ア 教科書の作家ごとの作品について鑑賞し、グループのなかで「印象に残った作品」として発表し、自分が興味を持ったテーマについて理解する。(1 時間)
 - イ 油絵の基底材の移り変わりについて学び、P20 号サイズの板に板目がよく現れるようにしながら、自分の作品に適した地塗りを行う。(1 時間)
- (2) 展開 1 5 時間
 - ア モチーフや写真等を各自用意し、描きたいテーマを決めてエスキースをし、構図を考える。
 - イ エスキースに色鉛筆で着色し、色彩計画を立てる。(ア、イで1 時間)
 - ウ 板に下描きをする。(1 時間)
 - エ 油絵の技法(スフマート, 盛り上げ(筆), 盛り上げ(ナイフ), ドライブラシ, 点描)を各グループでそれぞれ一つずつ異なるものを選んで調べ、参考作品を協力して制作する。制作したものを各グループごとに発表し、その技法のよさや効果についてお互いに学び合い、各自の作品の表現方法を構想する。(本時1 時間)
 - オ 生徒各々が、エの学習活動を踏まえ、テーマを表現するのに最も適した技法や興味のある技法を取り入れ工夫しながら油絵の具で表現し、作品制作をする。(1 2 時間)
- (3) まとめ 1 時間
 - ア 自分の作品について、表現したかったことや制作上の工夫などを発表し合い、お互いの作品を鑑賞し合うことで、作者の主張を理解し、それぞれの作品の美しさや表現の豊かさなどを感じ取る。
 - イ 自らの制作を振り返り、自己評価をする。

6 単元の評価計画（評価規準）

美術への関心・意欲 ・態度 (ア)	発想や構想の能力 (イ)	創造的な技能 (ウ)	鑑賞の能力 (エ)
<p>表現○油絵や油絵の表現方法に興味を持ち、授業に取り組もうとしている。</p> <p>○油絵の技法を学び、その効果や特徴などを他の生徒にわかりやすく説明しようとしている。</p> <p>鑑賞○作品の表現に関心をもち、作者の制作意図や主張を考察し作品を味わおうとしている。</p>	<p>○自分が表現したいテーマを掘り下げ、構図や色彩、マチエールの工夫等、制作のための構想を練っている。</p>	<p>○油絵の制作手順を理解し、筆のタッチや絵の具の混色方法を工夫して制作に取り組もうとしている。</p>	<p>○教科書等の作品の美しさや表現方法・意図を感じ取り、よさをあじわっている。</p> <p>○相互の発表を通じて、自他の作品の制作意図や表現の工夫を感じ取り、評価ができる。</p>

7 本時の目標

- (1) 油絵の技法を調べ、グループで参考作品を制作して、技法のよさや表現方法を発表する。
- (2) 各グループが発表した技法を理解し、各自の油絵作品の表現技法を構想し、次時の授業で行う本制作につなげる。

8 本時の学習展開

段階 (配当時間)	学習内容 学習活動	学習活動の支援・ 指導上の留意点	観点別評価
<p>導入 (5分)</p> <p>・挨拶</p> <p>・出欠確認</p>	<p>○4人程度のグループを作り、ア～オのうちから研究したい技法をグループごとに選択する。</p> <p>ア スフマート</p> <p>イ 盛り上げ（筆）</p> <p>ウ 盛り上げ（ナイフ）</p> <p>エ ドライブラシ</p> <p>オ 点描</p> <p>○それぞれの技法で描かれている作品が載っている画集をグループごとに用意する。</p> <p>○共用の油絵の材料・用具・モチーフを用意する。</p> <p>○モチーフはりんごの模型を用い、参考作品はグループで一つ制作することを理解する。</p>	<p>○ア～オの技法について、教科書や画集等の該当する作品を参考にさせる。</p> <p>○各グループで異なる技法になるようにする。</p> <p>○授業担当者はあらかじめ参考として最も適当な作品が載っている画集を用意する。</p> <p>○授業担当者が用意した参考作品制作用のカラージェッソを塗った厚紙と、共用のモチーフ、共用の油絵の具と用具を準備させる。</p> <p>○参考作品のモチーフは、技法による効果の違いが明確になるよう全グループ同じものを用意する。</p>	
<p>展開1 (調べ学習と参考作品作り) (25分)</p>	<p>○ワークシート（別紙資料）を配布し、グループで選択した油絵の技法について教科書や画集を参考に調べる。</p>	<p>○ワークシートに技法の特徴をまとめさせ、理解させる。</p> <p>○画集や教科書の作品をじっくりと見てマチエールを観察させ、画家がどのように描画したのか想像させる。</p>	<p>○参考にする画家の作品に興味を持って観察しているか。(ア)</p>

	<p>○1枚の参考作品をグループ全員で協力して制作することを確認する。</p> <p>○参考作品制作に当たり、役割分担を決める。</p> <p>○りんごの模型をどのように表現したらよいか、グループで討議する。</p> <p>○下描きをし、厚紙に油絵の具を使ってグループ全員で協力して表現する。</p> <p>○技法の特徴が良く出ているか、画集と見比べて確認しながら制作を進める。</p> <p>○仕上がった参考作品は、黒板にマグネットを使用して展示する。</p>	<p>○モチーフは技法の違いを明確にするために、同じりんごの模型であることを理解させる。</p> <p>○順番に描いたり、皆で同時に描いたりするなど、いろいろな役割分担の仕方があることをアドバイスする。</p> <p>○取り組んでいる技法の特徴が出るように、筆やナイフの最も適した動かし方や角度を話し合いながら協力して制作させる。</p> <p>○机間巡視し、絵の具の量や筆の角度など、必要に応じて実演する。</p> <p>○グループ全員が制作に関わっているかを机間巡視等で確認する。</p> <p>○作品の下に技法名と簡単な特徴を板書させる。</p>	<p>○それぞれの技法の特徴やよさを理解しながら取り組んでいるか。 (ア) (イ) (ウ)</p>
<p>展開2 (発表・鑑賞) (15分)</p>	<p>○グループの中で発表者を決め、グループごとに技法について発表する。</p> <p>○ワークシート(別紙資料)に発表の内容を記入する。</p> <p>○全ての発表が終わったら、展示してある参考作品を近くに行き自由鑑賞する。</p>	<p>○発表者は技法の名称・特徴と共に、絵の具やとき油の量、感想、参考にした画家の名前なども述べるようにアドバイスする。</p> <p>○必要に応じて技法について補足説明をする。</p> <p>○試してみたい技法があったら、◎等の記号を付けさせる。</p> <p>○ワークシートの表の右の欄に自分でじっくり見た感想を書かせる。</p>	<p>○発表内容を興味を持って聞いているか。(ア) (エ)</p>
<p>まとめ (5分) ワークシート提出 挨拶</p>	<p>○自分の作品をこれから制作するにあたり、どの技法を取り入れたいかを考える。</p> <p>○ワークシートを提出する。</p> <p>○片付け</p>	<p>○完成したときの作品を予想し、表現したい内容を最もよく表せると言う表現技法を選ばせる。</p> <p>○本番制作を行うにあたり、次時の授業最初にもう一度参考作品を鑑賞し、改めて技法について具体的に構想することを予告する。</p> <p>○共用の用具のため、筆を筆洗油できちんと洗うことやパレットの片付け、とき油の処理等をきちんに行わせる。</p>	<p>○技法を理解し、構想を練っているか。(イ)</p>

1 グループで選択した技法名 → _____

2 技法の特徴・説明 参考にした画家の名前 → 【 _____ 】

3 参考作品を作って、発表しよう。

基底材・・・カラージェッツを塗った厚紙（各グループで1枚）
 用意するもの・・・共用油絵の具、パレット、筆、ナイフ、拭き取り布、溶き油、筆洗油、
 新聞紙
 モチーフ・・・模型のりんご

選んだ技法を使い、グループで協力して1枚の厚紙にモチーフを表現する。
 仕上がったら、黒板にマグネットで展示し、技法名と簡単な説明を板書しておく。
 ※グループごとに発表するので、発表者を決めておく。

4 発表
 各グループの発表をメモしよう。

グループNo.	各グループの発表を聞いて書く		発表後、参考作品を近くでじっくりと見て感想を書く。
	技法名 (参考にした画家名)	説明・特徴メモ (取り入れてみたい技法に◎印)	
グループ 1			
グループ 2			
グループ 3			
グループ 4			
グループ 5			

5 作品に使ってみたい技法名を書き、どのような作品にしたいか構想を書こう。

技法名	構想・・・
-----	-------

次回の授業で記入する欄 【改めて参考作品を鑑賞し、取り入れてみたい技法と目指したい作品の雰囲気を書く】